

ちょうしづか新聞 第10号

国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳整備事業に伴う試掘調査速報

発行日: 2004年10月5日(火曜日)

発行: 山梨県埋蔵文化財センター資料普及課資料第2担当

第10号発刊記念! スクープ! 銚子塚古墳周溝の断面を大公開!

銚子塚古墳の試掘現場は連日の雨で水没しています。
でも、水没したトレンチの側面にはとても大事な土層が実は確認されているのです。
ちょうしづか新聞第10号の発刊を記念して特別に大公開しちゃいます。

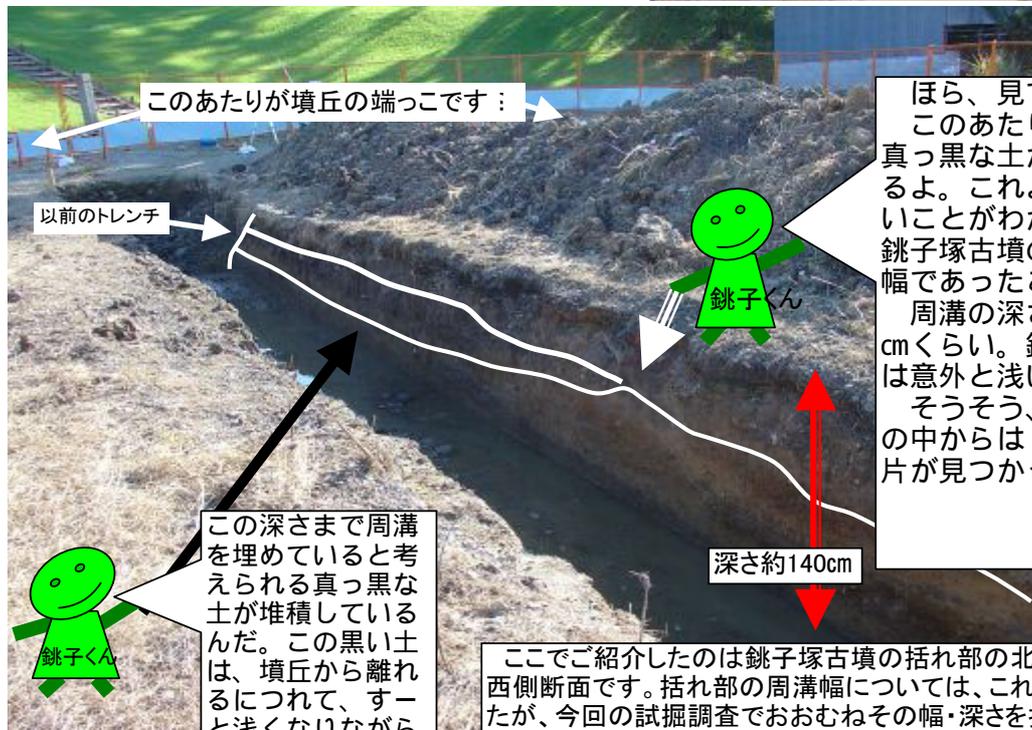
銚子塚古墳2004No.2. 3トレンチを墳丘上から見たところ



まるでプールのようにしょ!
また、ポンプで水汲みしなきゃ!



銚子塚古墳2004No.2トレンチの水没状況



このあたりが墳丘の端っこです!

以前のトレンチ

深さ約140cm

ほら、見てみて!
このあたりで周溝を埋めている
真っ黒な土が浅く消えてしまっているよ。これより先にはもう周溝がないことがわかるよ。ということは、銚子塚古墳の周溝は大体ここまでの幅であったことが推測できるんだ!
周溝の深さは深いところでも約80cmくらい。銚子塚古墳の北側の周溝は意外と浅いんだね。
そうそう、周溝の中に堆積した土の中からは「埴輪(はにわ)」の破片が見つかったんだ!

この深さまで周溝を埋めていると考えられる真っ黒な土が堆積しているんだ。この黒い土は、墳丘から離れるにつれて、すーと浅くなりながら消えていってしまうんだ。

ここでご紹介したのは銚子塚古墳の括れ部の北側に設置したNo.2トレンチの西側断面です。括れ部の周溝幅については、これまで良くわからない状態でしたが、今回の試掘調査でおおむねその幅・深さを把握することができました。あとは後円部の周溝にどのようにつながっていくのかをもう少し調べる必要があります。

No.2トレンチの位置や確認された周溝幅の平面図は次号以降に公開する予定です。

【連絡先】山梨県埋蔵文化財センター 資料普及課資料第2担当(森原・森屋)

〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 電話055-266-3016 ファックス055-266-3882

e-mail morihara-thb@pref.yamanashi.lg.jp

※この「ちょうしづか新聞」にはフルカラーExcel版で作成しています。ご希望の方はメールでご連絡ください。

